

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合の指針を作成し、入居時に利用者・家族と話し合いを行っているが、今後の終末期の対応に向けて、職員に対する指針の説明や勉強会等理解に向けた動きが必要である。	重度化に向けて、医療や家族との連携の必要性や対応の方法について、職員の理解を深める。	定期的な勉強会を実施するとともに、医療従事者との連携を図るために、合同の勉強会の開催も実施していく。	12カ月
2	35	避難訓練は実施しているが、事業開始間もない事もあり、実施回数が少ない上に火災想定のものしか実施していない。今後、様々な災害に備えて、訓練と備えをしていく必要がある。	様々な災害を想定した訓練を実施し、有事に備える事が出来る。また、必要な備えをするとともに、地域住民への協力要請も行なっていく。	年2回の避難訓練の内容を、消防署の助言を受けながら計画立て、火災想定のみならず、風水害に備えた訓練を実施していく。備蓄について、その方法や内容について、早急に検討し対応を進めていく。	12カ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。